

2021年度競輪補助事業の実施について

この度、公益財団法人JKA様の補助を受けて以下の通り、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の事業を実施いたしました。

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、当法人が指定管理制度で運営する八尾市立障害者総合福祉センターには、医療的ケアの必要な方をはじめ、高い重症化リスクを伴う多くの障がい児者が利用されており、施設内において全ての利用者と職員を新型コロナウイルスに感染させないため本事業を実施しました。

(2) 実施内容

①光触媒搭載の空気清浄機の設置

光触媒搭載の空気清浄機2台をデイサービスの利用者が過ごされる各フロアに設置しました。介護サービスにおいては食事介助や排せつ介助などどうしても利用者に寄り添った介助が必要になります。また、障がい特性によりマスクの着用が難しい利用者もおられます。そういった状況下でウイルスを除去してくれる空気清浄機は、衛生的な環境を効率的に維持できるので、施設で過ごされる利用者と職員に安心感を与えてくれます。

②ソーラーパネル付き蓄電池の設置

当施設は八尾市から福祉避難所に指定されておりコロナ禍での避難所生活は、極めて高い感染リスクが伴います。そこで、屋外で食事をする炊き出しを行うことができれば密を回避することができます。また、蓄電池があれば停電時でも屋外でも調理が可能となり非常に重宝な備品となります。



空気清浄機（3階フロア設置）



空気清浄機（3階フロア設置）



ソーラーパネル付き蓄電池



ソーラーパネル付き蓄電池（ソーラーパネルによる充電中）

2 予想される事業実施効果

当施設では、これまでも検温、体調チェック、消毒および換気などの感染対策に注力した成果で施設内での感染をゼロに抑えてきました。さらに本事業の実施で空気清浄機を設置することにより、引き続き施設内での感染をゼロに抑えることが期待できます。

また、災害時には大勢の障がい者が避難されることが想定されます。また、避難者の机上定員は1人あたり3.3㎡に設定されており、避難所は「いわゆる密な状態」となりません。特に食事は少人数でというコロナ対策を講じるため、時間や場所を分散して行う必要があります。その際、ソーラーパネル付き蓄電池があれば、密な施設内を避け隣接する公園で炊き出しを行い食事をする事で新型コロナウイルスの感染防止に繋がることが期待できます。

また、ソーラーパネルが付いているので天気が良ければ充電が可能になるため停電が長期間になる場合にも対応できます。